

第1章 人口

C.1 Population

■全国に先駆けて進む高齢化

2010年の九州8県の人口（抽出速報集計）は1,460万人となっており、05年と比較して11.8万人減少している。全国シェアをみると、九州の人口は1980年に全国の12.0%を占めていたが、全国より早く人口減少に転じたため、2010年は11.4%に低下した。県別にみると、05年から人口が増加したのは福岡県と沖縄県だけである。また、2010年の九州8県の高齢化率（全人口に占める65歳以上人口の割合）は23.43%となり、05年の21.73%から1.7%ポイント高まった。福岡県、沖縄県以外の県で全国平均を上回っており、高齢化が全国に先駆けて進行している。

人口の推移と将来推計

Shifts & Future Estimates in Population (単位：千人) (1,000 people)

	1980	1990	2000	2005	2010	2020	2030
全 国 Japan	117,060	123,611	126,926	127,768	128,056	122,735	115,224
九州8県 Kyushu's 8 Pref.	14,072	14,518	14,764	14,715	14,597	13,913	12,997
福岡県 Fukuoka Pref.	4,553	4,811	5,016	5,050	5,073	4,884	4,609
佐賀県 Saga Pref.	866	878	877	866	850	804	744
長崎県 Nagasaki Pref.	1,591	1,563	1,517	1,479	1,427	1,319	1,187
熊本県 Kumamoto Pref.	1,790	1,840	1,859	1,842	1,817	1,712	1,582
大分県 Oita Pref.	1,229	1,237	1,221	1,210	1,196	1,115	1,022
宮崎県 Miyazaki Pref.	1,152	1,169	1,170	1,153	1,135	1,055	962
鹿児島県 Kagoshima Pref.	1,785	1,798	1,786	1,753	1,706	1,595	1,460
沖縄県 Okinawa Pref.	1,107	1,222	1,318	1,362	1,393	1,429	1,431
山口県 Yamaguchi Pref.	1,587	1,753	1,528	1,493	1,451	1,321	1,178

2010年までは総務省「国勢調査報告」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「将来の都道府県別総人口」、2010年は速報集計値

高齢化率の推移

Changing Trends in Population Aging Rate (単位：%)

	1980	1990	2000	2005	2010
全 国 Japan	9.10	12.05	17.34	20.09	22.88
九州8県 Kyushu's 8 Pref.	10.56	13.93	19.34	21.73	23.43
福岡県 Fukuoka Pref.	9.37	12.43	17.35	19.76	21.29
佐賀県 Saga Pref.	11.83	15.15	20.43	22.64	24.87
長崎県 Nagasaki Pref.	10.67	14.65	20.83	23.59	25.13
熊本県 Kumamoto Pref.	11.73	15.43	21.30	23.73	25.81
大分県 Oita Pref.	11.74	15.48	21.77	24.21	25.84
宮崎県 Miyazaki Pref.	10.48	14.25	20.66	23.47	26.03
鹿児島県 Kagoshima Pref.	12.71	16.63	22.58	24.79	27.02
沖縄県 Okinawa Pref.	7.76	9.91	13.85	16.08	16.90
山口県 Yamaguchi Pref.	11.60	15.86	22.24	25.01	28.08

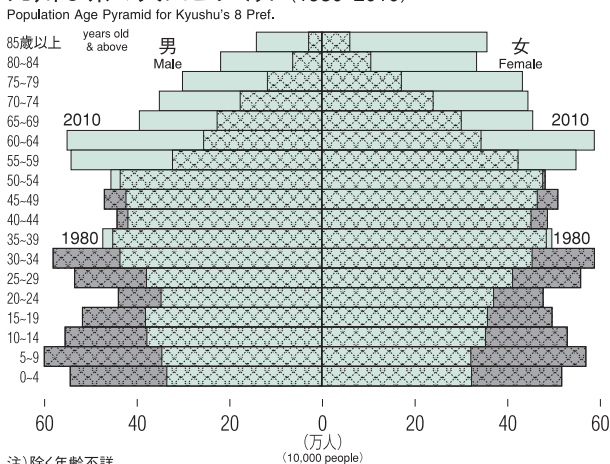
注)2010年は抽出速報集計

総務省「国勢調査報告」

■少子高齢化の進展、人口の転出超過続く

国勢調査をもとに2010年の年齢別人口構成をみると、10年（抽出速報集計）の0～4歳人口は65.6万人と、1980年から38.0%減少した。一方、65歳以上人口については、1980年の2.3倍となる約342万人に達しており、少子高齢化が急速に進展している。また、九州と九州外の人口移動は、バブル経済崩壊後の1990年代半ばに転入超過が4年間続いたものの、その後は転出超過が続き、2007年が転出超過のピークとなった。2010年は、景気低迷により三大都市圏の雇用吸収力が弱まったことから、前年より約6,000人縮小し、1.3万人の転出超過となった。県別にみると、福岡県と沖縄県で転入超過となったが、その他の県では依然として転出超過の状態が続いている。

九州8県の人口ピラミッド(1980・2010)



人口移動(九州8県対全国)の推移

